

科目名	保育実習 b						
	【保育士必修】						
授業形態	実習	学年	2年	開講時期	前期	単位数	2単位
担当教員	渡辺 一弘・郭 小蘭・渡部 琢也・櫻井 直輝・河原田 潤・木村 淳也						

内容および計画	<p>保育実習 bでは、実習先の保育所で観察実習、参加実習等を行いながら、以下の5つの目標に取り組む。 保育所の役割や機能を具体的に理解する。 観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深める。 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育および保護者への支援について総合的に学ぶ。 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</p> <p>*計画欄には、保育所における実習の内容を記載する。</p>
1	<p>保育所の役割と機能 (1) 保育所の生活と一日の流れ (2) 保育所保育指針の理解と保育の展開</p>
2	<p>子ども理解 (1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子どもの発達過程の理解 (3) 子どもへの援助やかかわり</p>
3	<p>保育内容・保育環境 (1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容 (3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全</p>
4	<p>保育の計画、観察、記録 (1) 保育課程と指導計画の理解と活用 (2) 記録に基づく省察・自己評価</p>
5	<p>専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携 (3) 保育士の役割と職業倫理</p>
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

教科書	既習の保育関連の教科書を見直すこと。
-----	--------------------

参考書	
-----	--

成績評価	評価については、保育実習指導 bの講義で説明する。
------	---------------------------

学習到達目標	<p>保育所の役割や機能を実践の場で具体的に理解すること。 観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める、かかわり方について自ら考えること。 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育および保護者への支援について総合的に学び、実践と繋がった理解をしようとする事。 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解すること。 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践の場でのあり方を理解すること。</p>
--------	---

先修条件	
------	--

その他	
-----	--